

がん治療経験者を対象とした 経済毒性についての アンケート

NPO法人キャンサーネットジャパン
常務理事 古賀真美

アンケート調査の概要

目的：患者が感じる経済的負担の実像を明らかにする

依頼方法：キャンサーネットジャパンのメルマガ配信で
1,352名に協力依頼を送信。SNSで依頼を投稿

調査期間：2022年7月8日～8月20日

対象者：がん治療経験者

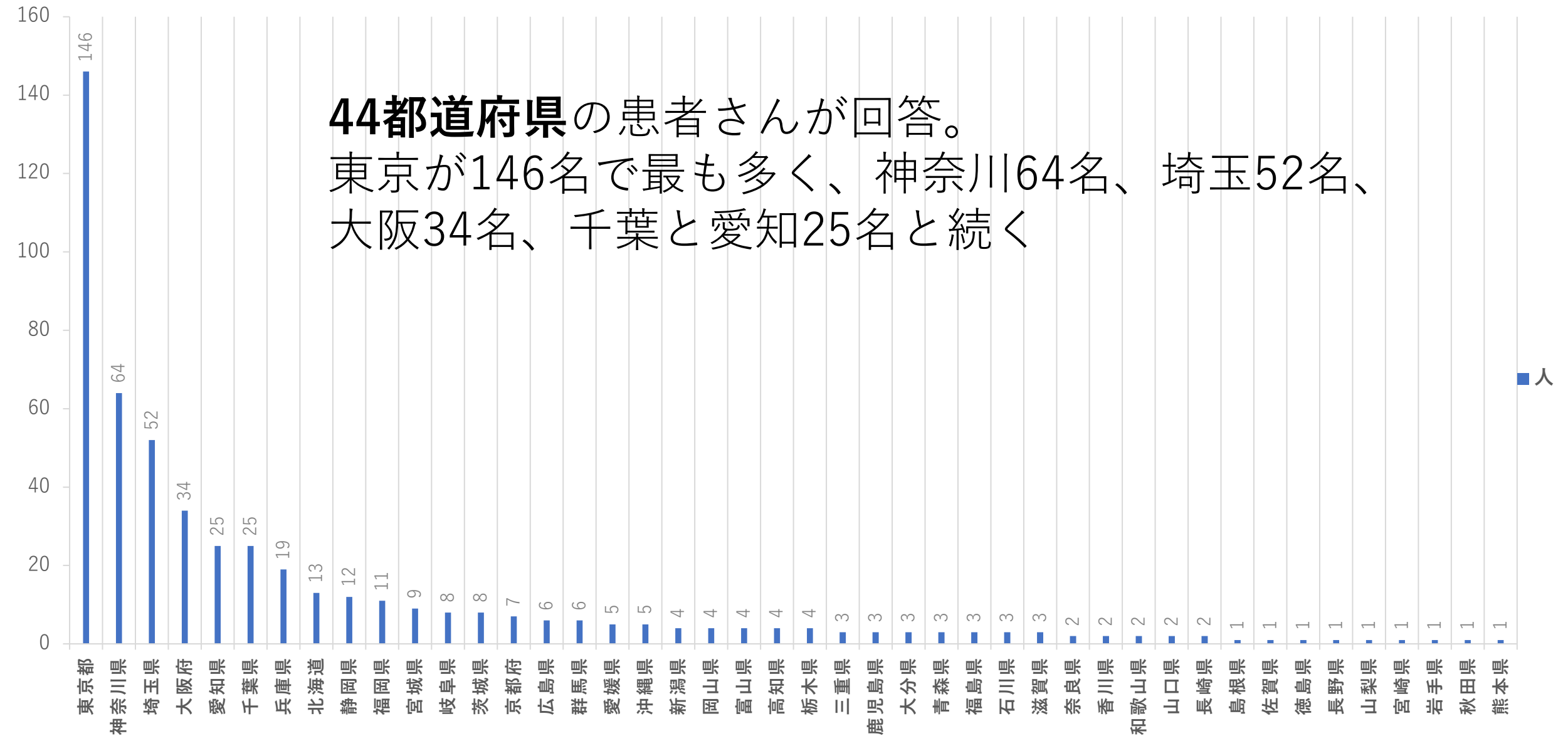
有効回答者数：515名

アンケート項目

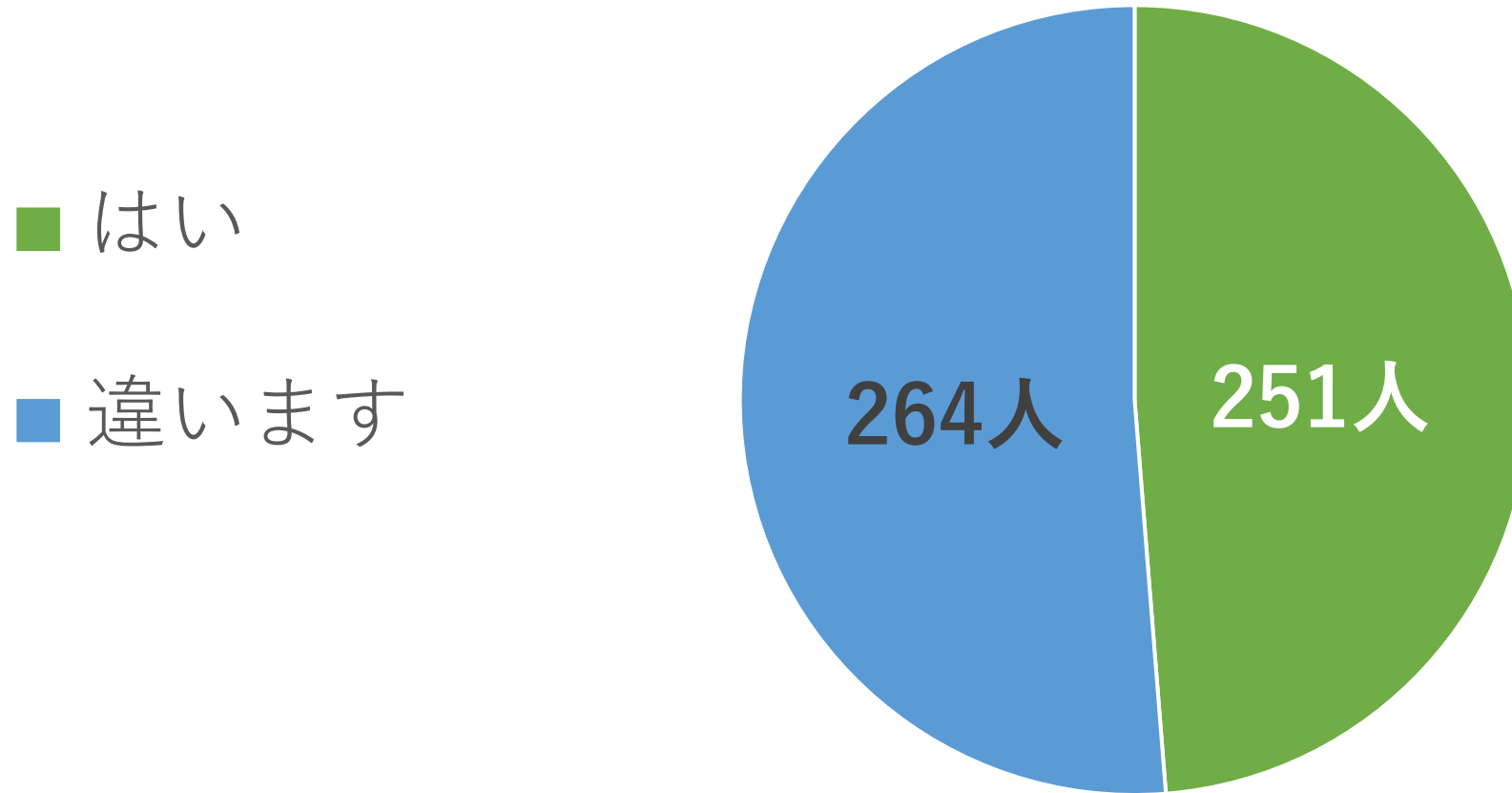
- ① お住まいの都道府県を教えてください
- ② お住まいは都道府県庁所在地ですか？
- ③ 年齢を教えてください
- ④ がんと診断されたとき、お金の心配をしましたか？
- ⑤ がん治療にかかる費用は予想していたよりも多いと思いますか？
- ⑥ 経済的に先々が不安だと思いますか？
- ⑦ 診断前と変わらず会社や家庭で働けていますか？
- ⑧ 治療費が経済的負担だと感じることがありますか？
- ⑨ 診断時に医療者から治療費についての説明がありましたか？
- ⑩ 診断前から高額療養費制度について知っていましたか？
- ⑪ がん治療中、経済的な負担が原因であきらめたことがありますか？
- ⑫ 上記で「ある」と回答した方、差し支えなければ具体的におしえてください。
- ⑬ 治療中に経済的な事柄について、こうしてもらえたら心理負担が減ったのではないかと思うことがあったら教えてください。
- ⑭ がん治療中に経済的な負担によって、起きた悪影響がありましたら、具体的に教えてください。
- ⑮ その他、このアンケートへのご感想、ご意見等ございましたらお書きください。

①お住まいの都道府県を教えてください

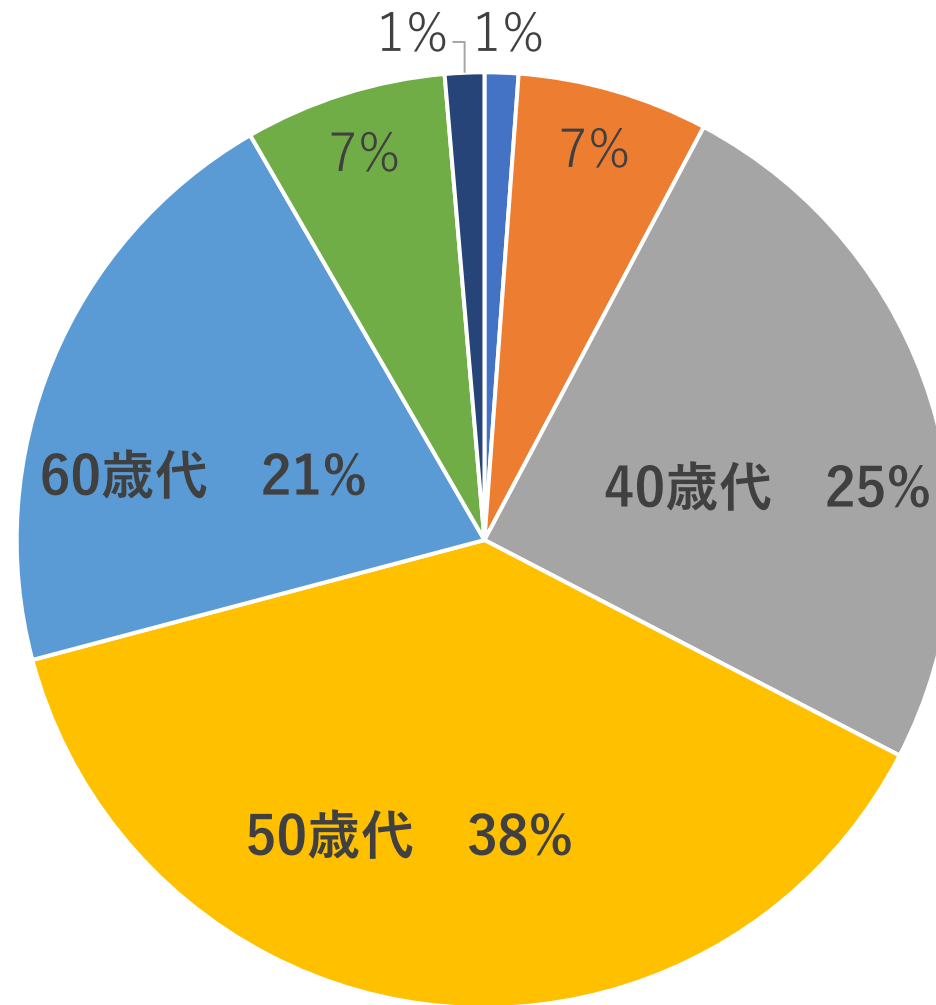
N = 515



②お住まいは都道府県庁所在地ですか？

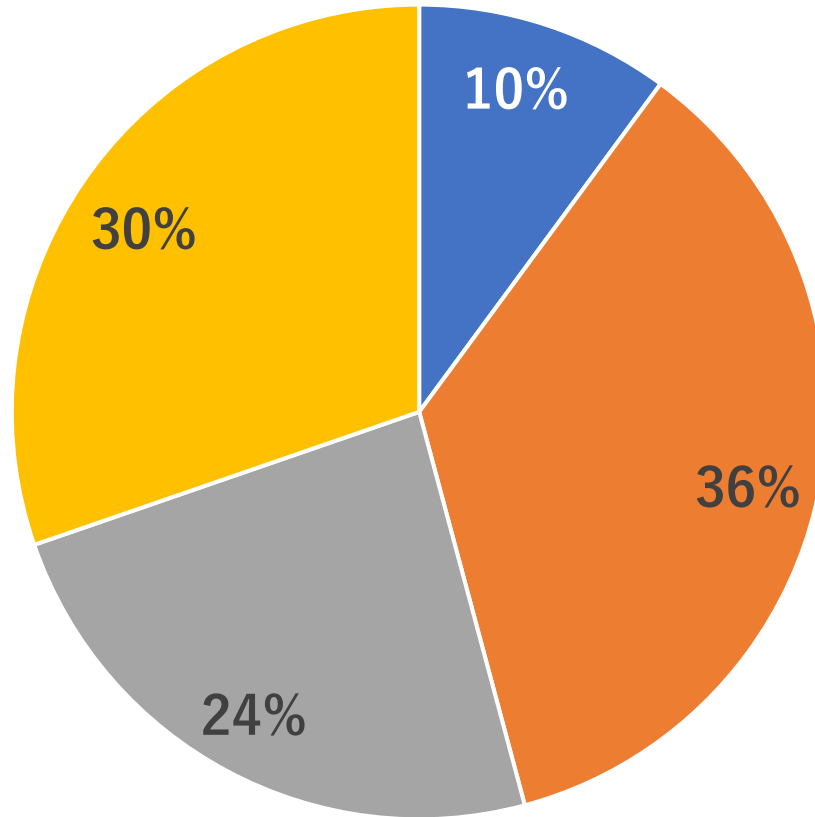


③年齢を教えてください



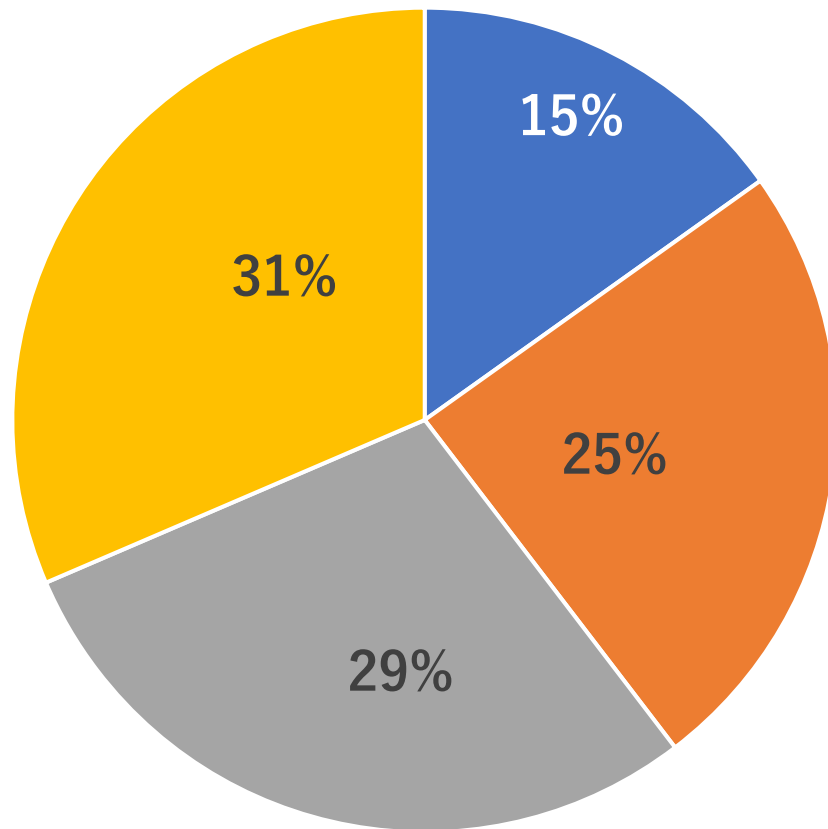
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代
- 80歳代

④がんと診断されたとき、お金の心配をしましたか？



- 全く心配しなかった
- 少し心配した
- 心配した
- かなり・とても心配した

⑤がん治療にかかる費用は予想していたよりも多いと思いますか？



■ 全く思わない

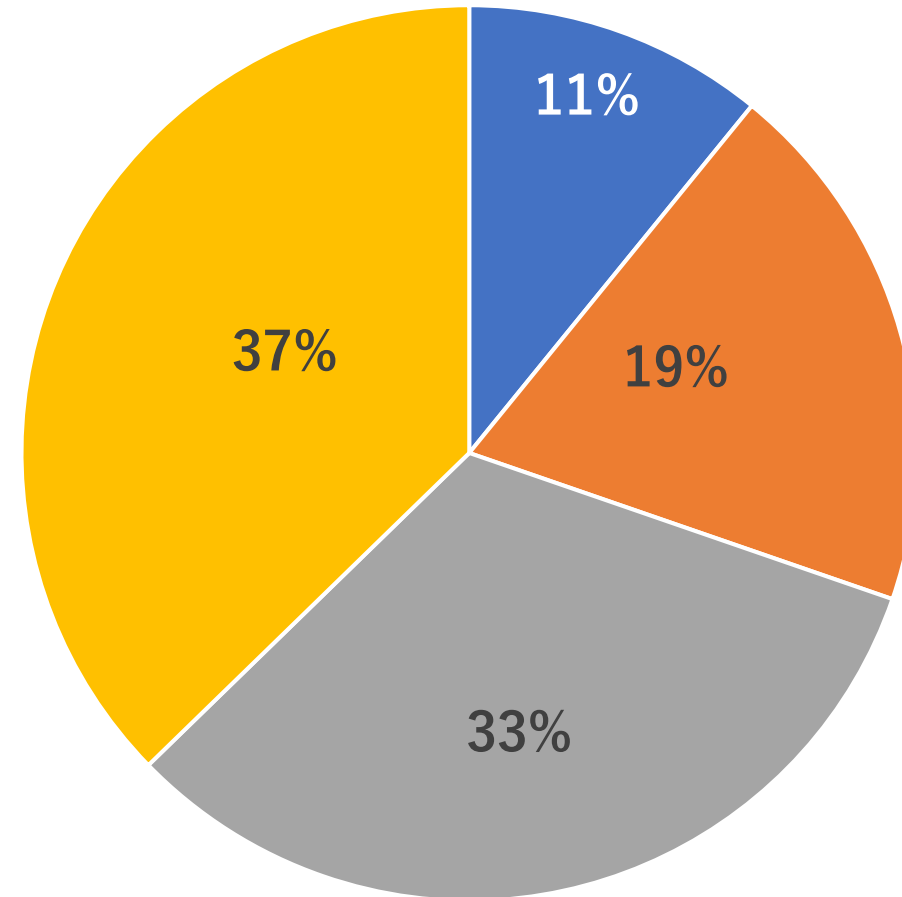
■ そう思う

■ 少しそう思う

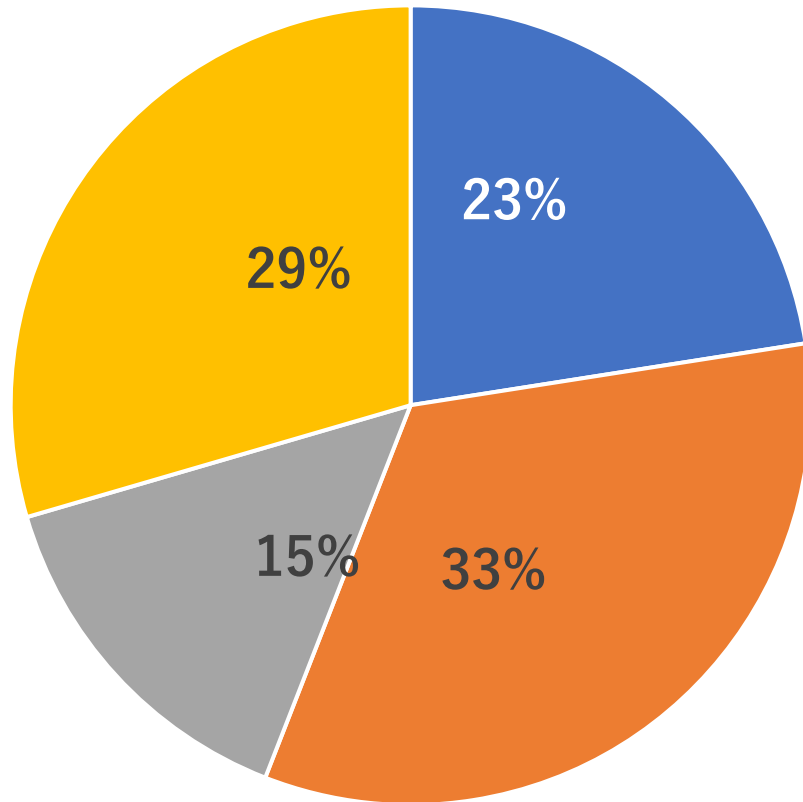
■ かなり・とてもそう思う

⑥経済的に先々が不安だと思いますか？

- 全く思わない
- そう思う
- 少しそう思う
- かなり・とてもそう思う



⑦診断前と変わらず会社や家庭で働いていますか？



■ 全く変わらない

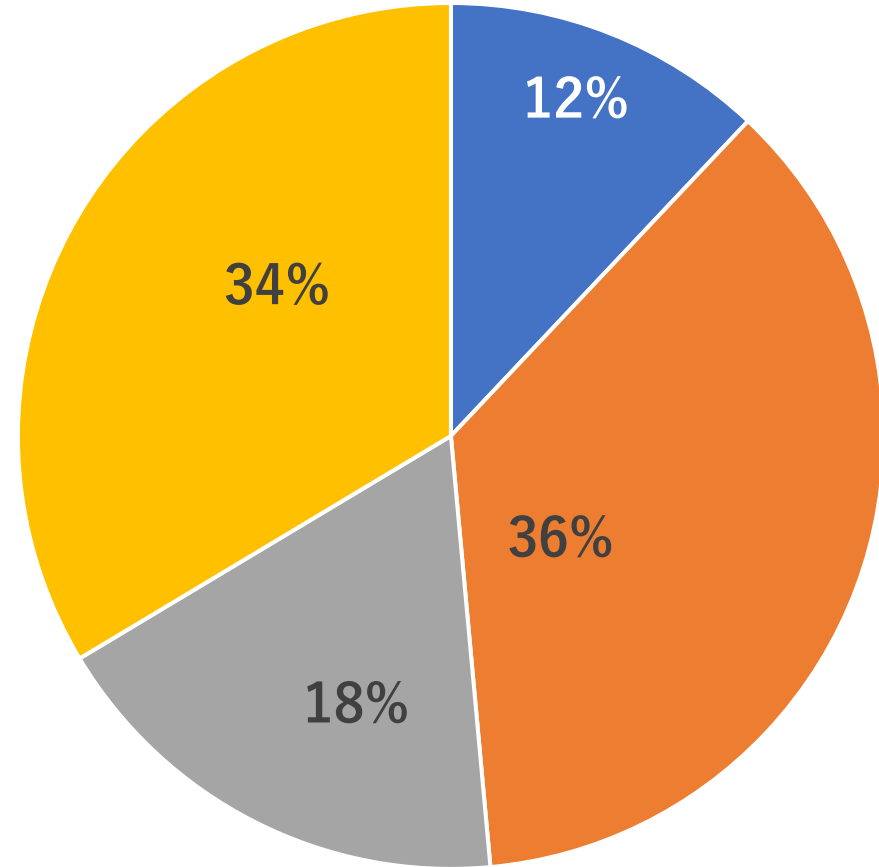
■ 少し変わった

■ 変わった

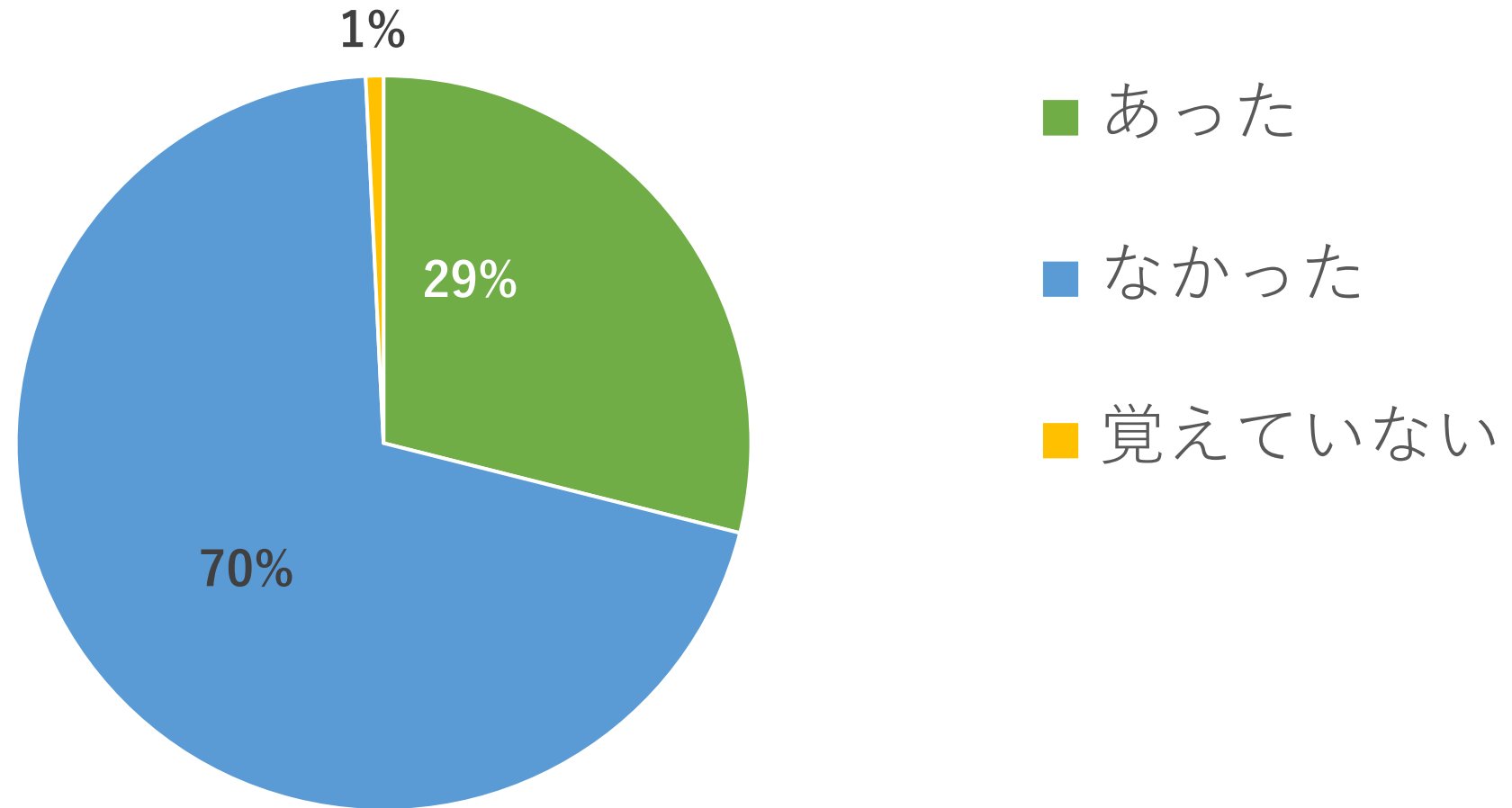
■ とても・かなり変わった

⑧治療費が経済的負担だと感じることがありますか？

- 全く思わない
- 少しそう思う
- そう思う
- かなりそう思う

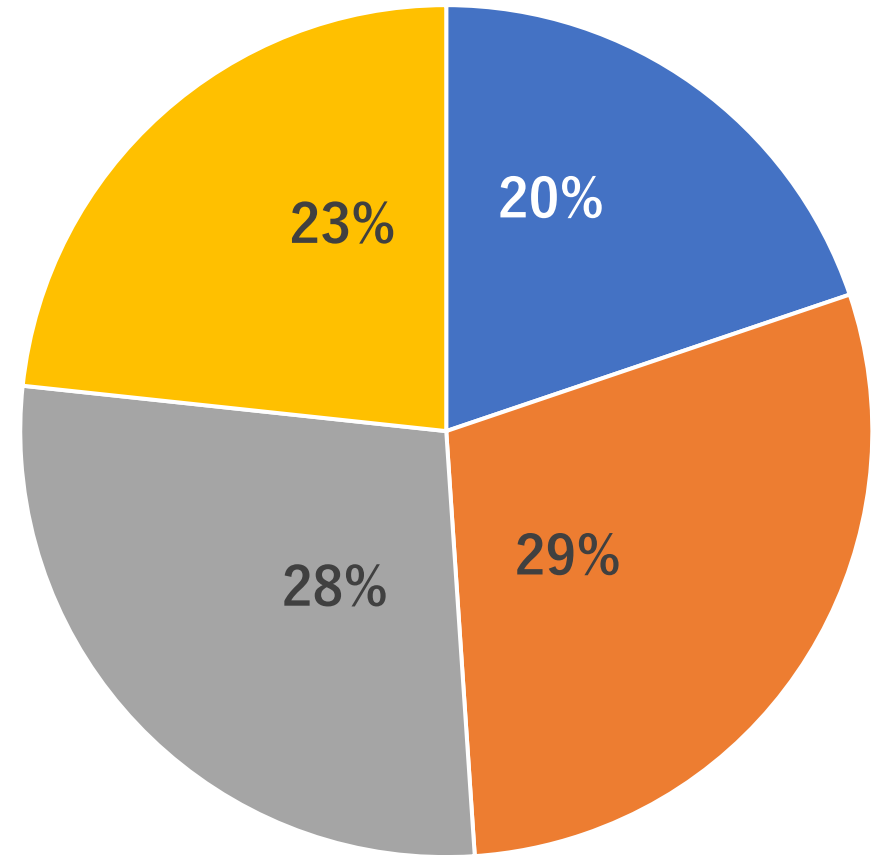


⑨診断時に医療者から治療費についての説明がありましたか？



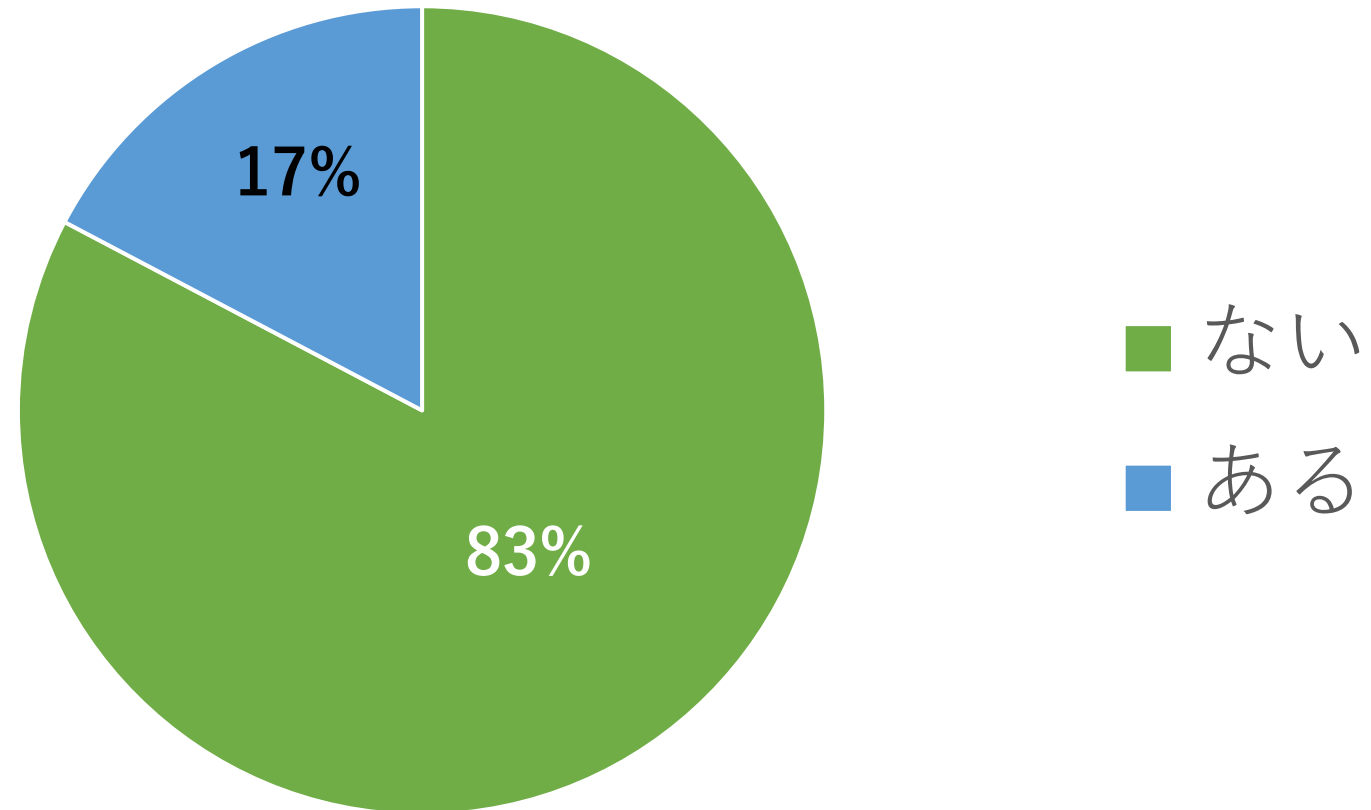
⑩診断前から高額療養費制度について知っていましたか？

- 全く知らなかった
- 名前だけは知っていたが詳しいことは知らなかった
- 凡その内容は知っていた
- よく知っていた



N = 515

⑪がん治療中、経済的な負担が原因であきらめたことがありますか？



⑫がん治療中、経済的な負担が原因であきらめたこと

(N = 89人)

～自由記載のkeyword～

治療（高額な薬剤、放射線治療、ホルモン療法、乳房再建、漢方薬、先進医療など）、検査（オンコタイプDX）、妊孕性温存（卵子保存）、セカンドオピニオン、カウンセリング、個室での治療、アピアランス（化粧品、ウィッグ、ケア下着）、家族旅行（国内外、帰省）、仕事（転職）、趣味（コンサート、観劇、本は購入せず借りる、友人との茶話会）、進学、車（購入、買換え）、住宅（購入、リフォーム） …

⑫がん治療中、経済的な負担が原因であきらめたこと (N = 89人)

～自由記載からの抜粋～

- ・大学院在学中だったが退学した。
- ・家族との思い出を作りたいが諦めている。
- ・年金の支払い。
- ・高齢の親の民間高齢者施設への入居を見合わせた。
- ・子供に塾をやめさせた。

⑬治療中に経済的な事柄について、
こうしてもらえたら心理負担が減ったのではないかと思うこと
(N = 246)

～自由記載のkeyword～

相談窓口、各種制度、障害年金、費用目安、検査や治療の前、ひとり親支援、婚姻費用分担請求、差額ベッド代、放射線治療、検査費用(CT・MRI・PET等)、パンフレット(モデルケースの例示)、

※婚姻費用分担請求とは、別居中の夫婦のうち収入が低い方の配偶者が、収入が高い方の配偶者に対して生活費を支払ってもらうように求めること。

**⑬治療中に経済的な事柄について、
こうしてもらえたら心理負担が減ったのではないかと思うこと
(N = 246)**

～自由記載からの抜粋～

- ・ 診断時に治療の概算費用を教えてほしかった。
- ・ 薬の服用について目安の期間を示してほしかった。
- ・ 検査費用や治療費の説明をしてくれる専門家がいてほしかった。
- ・ 月を跨いで入院すると倍の費用がかかることを教えてほしかった。
- ・ がんでも障害年金申請ができることを医師に知ってほしかった。

⑭がん治療中に 経済的な負担によって起きた悪影響（N＝180）

～自由記載で複数あったもの～

- ・治療費が払えないので治療を諦めた。
- ・食費を削って好きなものは諦めた
- ・友達からの誘いを断るようになった。
- ・治療費を借りた
- ・税金を滞納している。

⑭がん治療中に 経済的な負担によって起きた悪影響（N＝180）

～自由記載からの抜粋～

- ・年金を払えない。
- ・年金生活の両親がお金を援助してくれ迷惑をかけた。
- ・抗がん剤治療中を理由に教育ローンの審査が通らなかった。
- ・カード支払いにしたが、支払いが大変でリボ払いにした。
- ・離婚した。

まとめ

- 回答者の約90%が先々が不安だと回答していた。
- 患者の約90%はお金の心配をしていて、約85%は医療費が予想していたよりも多いと感じていた。
- 患者の23%は診断前と同じように働けているが、医療費が負担だと約90%が感じている。
- 医療者から治療費について説明を受けている患者は約30%しかおらず、約20%は高額療養費制度のことを全く知らなかった。
- 経済的な問題であきらめたことがあると回答した17%（89名）のコメントは切実で、経済的問題が理由で治療を諦める患者も少なくはなかった。

ご協力いただいた多くの患者さんへ
心から感謝いたします